



# 操作・設定説明書

## リモートオーディオモニター AI-500MP



このたびは、TOA リモートオーディオモニターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、必ずこの操作・設定説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

設定と操作の概要	3
システム要件	3
セキュリティ対策のお願い	4
接続のしかた	5
任意の IP アドレスを設定しているとき	5
IP アドレスを自動的に取得しているとき	6
画面の切り換えかた	7
モニター画面からの切り換え	7
設定画面／レベルログ画面からモニター画面への切り換え	9
モニター画面の使いかた	10
各部の表示内容	10
モニターモード切り換え	11
モニター音声の保存	13
レベルログ画面の使いかた	15
各部の表示内容	15
ライブモードの切り換え	16
メニュー操作のしかた	17
設定画面の使いかた	18
メニューリスト	18
表示設定のしかた	19
モニター設定のしかた	20
ネットワーク設定のしかた	22
音声入力設定のしかた	25
メンテナンス	27
再起動のしかた	31

## 設定と操作の概要

パソコンを使用して、ブラウザから本体に接続し、ネットワーク経由で以下の設定や音声のモニター、レベルログの確認、メンテナンスなどを行うことができます。

### 【モニター画面】

- レベルメーター表示
- 音声モニター
- モニター音声保存

### 【レベルログ画面】

- レベルログ表示
- ライブモード切り換え
- レベルログ保存

### 【表示設定】

- チャンネル名称
- グループ
- 信号スケール

### 【モニター設定】

- 故障検知信号オフ設定
- 本体 MIX

### 【ネットワーク設定】

- アカウント設定
- ネットワーク設定
- 日時設定

### 【音声入力設定】

- 各入力チャンネルのアナログ／ネットワーク方式の設定

### 【メンテナンス】

- 設定のバックアップと復元
- 動作ログダウンロード
- ファームウェア更新
- 工場出荷時の設定への初期化

## システム要件

パソコンの推奨動作環境は下記のとおりです。

OS	Windows 11 Pro (64bit) Windows 11 Home (64bit)
ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome

### メモ

本書では、Google Chrome の画面を使って各手順を説明しています。

## セキュリティ対策のお願い

- お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。
- 不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害または損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本体への不正アクセスを防ぐために、ユーザー名、およびパスワードは、初期設定から変更してお使いください。
- パスワードの管理には十分ご注意ください。

# 接続のしかた

ネットワーク設定画面 (P. 22) で、任意の IP アドレスを設定しているときと、IP アドレスを自動的に取得する設定になっているときとで手順が異なります。

## ■ 任意の IP アドレスを設定しているとき

- 1 本体と設定に使用するパソコンをネットワークに接続する。
- 2 パソコンでブラウザを起動し、アドレス欄に「本体の IP アドレス」を入力する。

例：192.168.14.1

ログイン画面が表示されます。

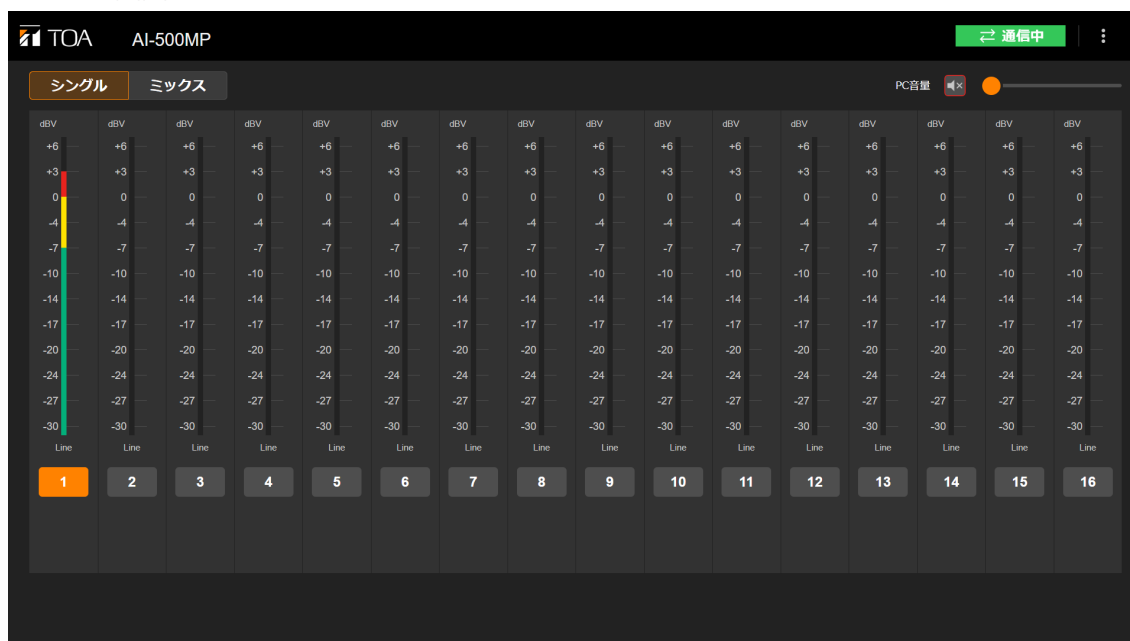


メモ

工場出荷時の IP アドレスは、「192.168.14.1」に設定されています。

- 3 ユーザー名とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。

モニター画面が表示されます。



各種設定を行うときは、設定画面に切り換えます。(P. 7)

### ご注意

同時に接続できるモニター画面はウィンドウ 4 つまでです。そのうち、同時に音声をモニターできるのはウィンドウ 2 つまでです。

メモ

ユーザー名、パスワードの初期設定は次のとおりです。

ユーザー名： admin

パスワード： guest

## ■ IP アドレスを自動的に取得しているとき

- 1 本体と設定に使用するパソコンをネットワークに接続する。
- 2 パソコンでブラウザを起動し、アドレス欄に「http://< ホスト名 >.local」を入力する。

例：http://ai-500mp.local  
ログイン画面が表示されます。



メモ

工場出荷時の URL は、「http://ai-500mp.local」に設定されています。

- 3 ユーザー名とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。  
モニター画面が表示されます。



各種設定を行うときは、設定画面に切り換えます。(P.7)

### ご注意

同時に接続できるモニター画面はウィンドウ 4 つまでです。そのうち、同時に音声をモニターできるのはウィンドウ 2 つまでです。

メモ

ユーザー名、パスワードの初期設定は次のとおりです。

ユーザー名： admin

パスワード： guest

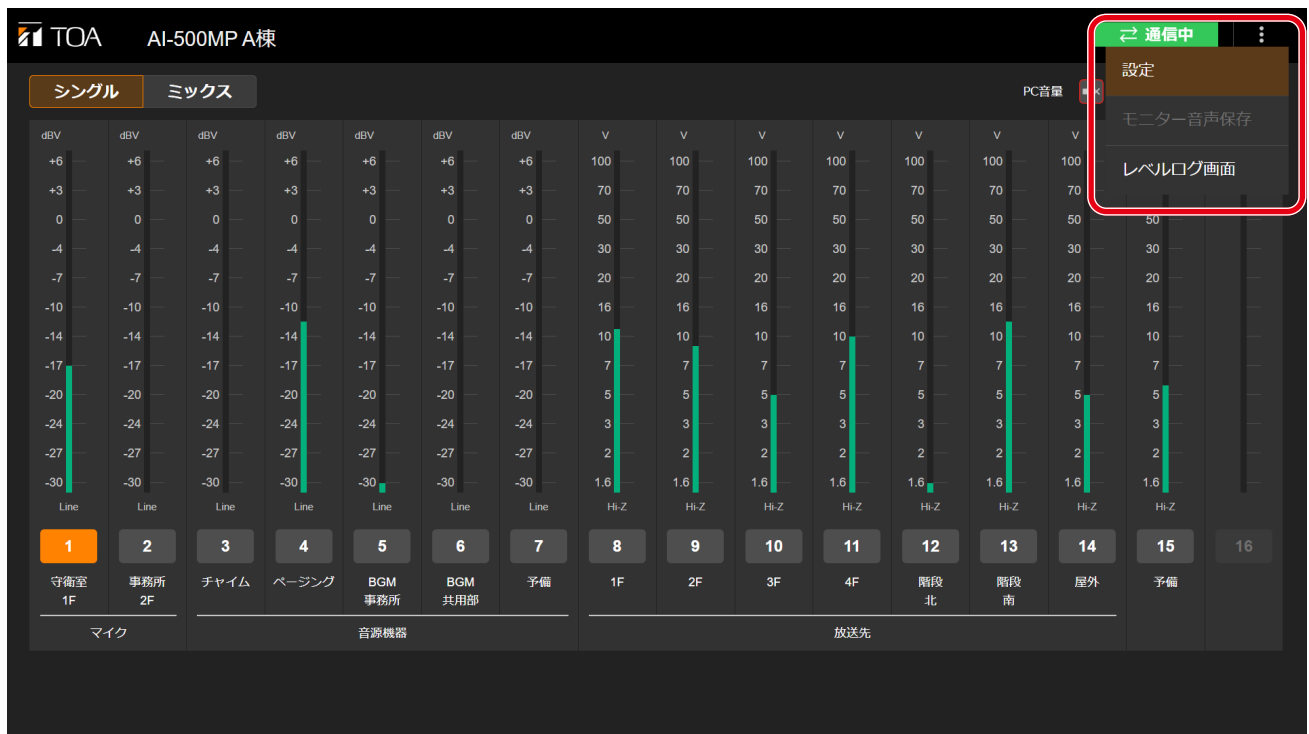
# 画面の切り換えかた

本体にログイン (P.5) したときには、モニター画面が表示されます。モニター画面から設定画面へ切り換えると、各種設定を行うことができます。  
また、モニター画面からレベルログ画面に切り換えることもできます。

## ■ モニター画面からの切り換え

### ● モニター画面から設定画面への切り換え

手順：モニター画面で、ブラウザー画面右上の「:」をクリックし、「設定」をクリックする。  
設定画面に切り換わります。



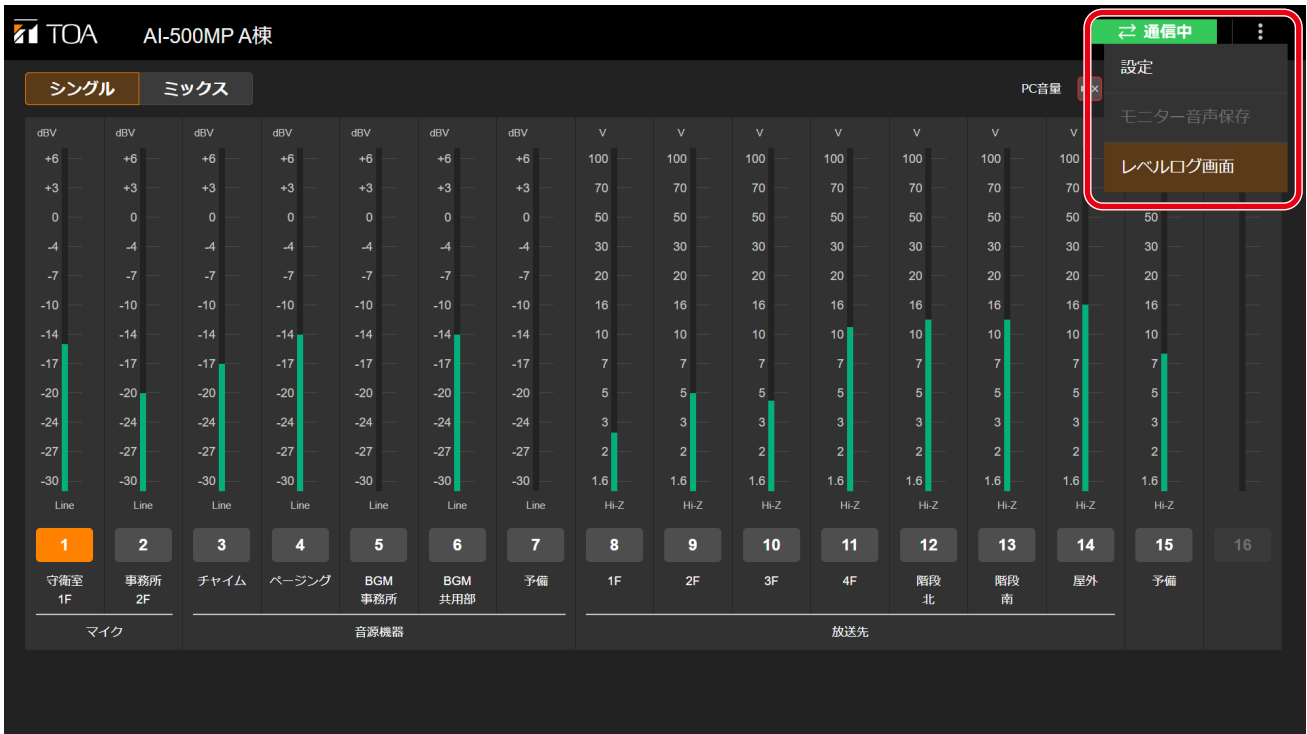
### [設定画面]



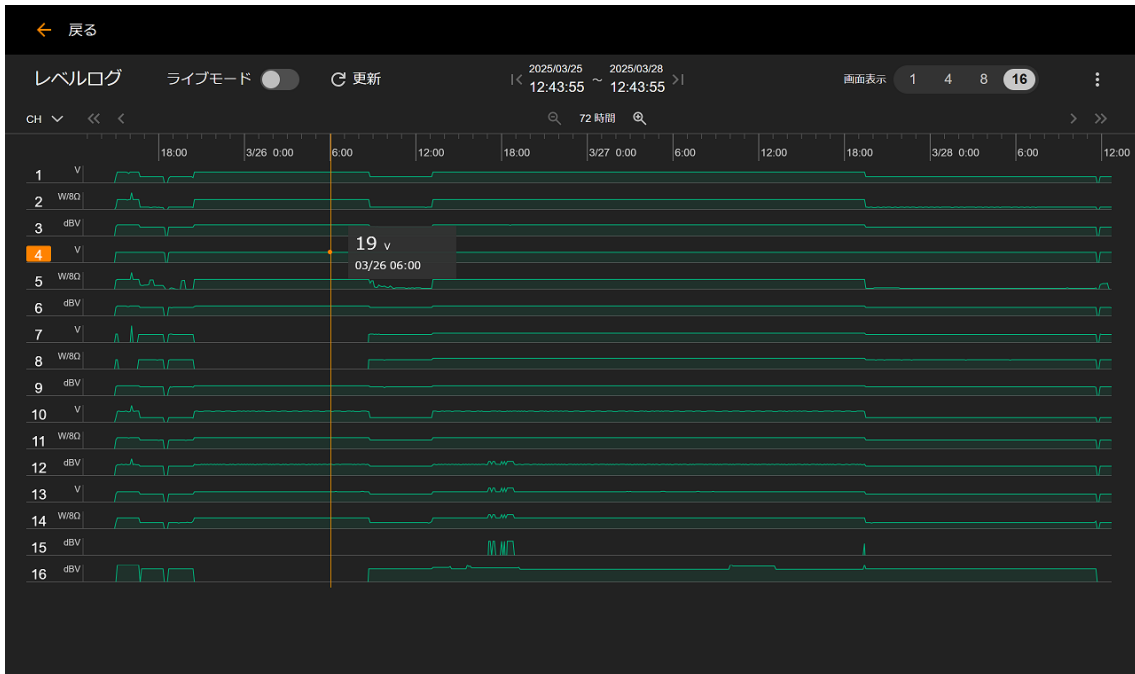
## ● モニター画面からレベルログ画面への切り換え

手順：モニター画面で、ブラウザ画面右上の「:」をクリックし、「レベルログ画面」をクリックする。

レベルログ画面に切り換わります。



### [レベルログ画面]



## ■ 設定画面／レベルログ画面からモニター画面への切り換え

手順：設定画面またはレベルログ画面で、ブラウザ画面左上の「←戻る」をクリックする。  
モニター画面に切り換わります。

### 【ご注意】

設定画面からモニター画面に切り換えると、常に初期設定（P. 10）の状態が表示されます。

← 戻る ※設定反映には再起動が必要です

表示設定

モニター設定

ネットワーク設定

音声入力

メンテナンス

再起動

本体名称 AI-500MP

チャンネル設定

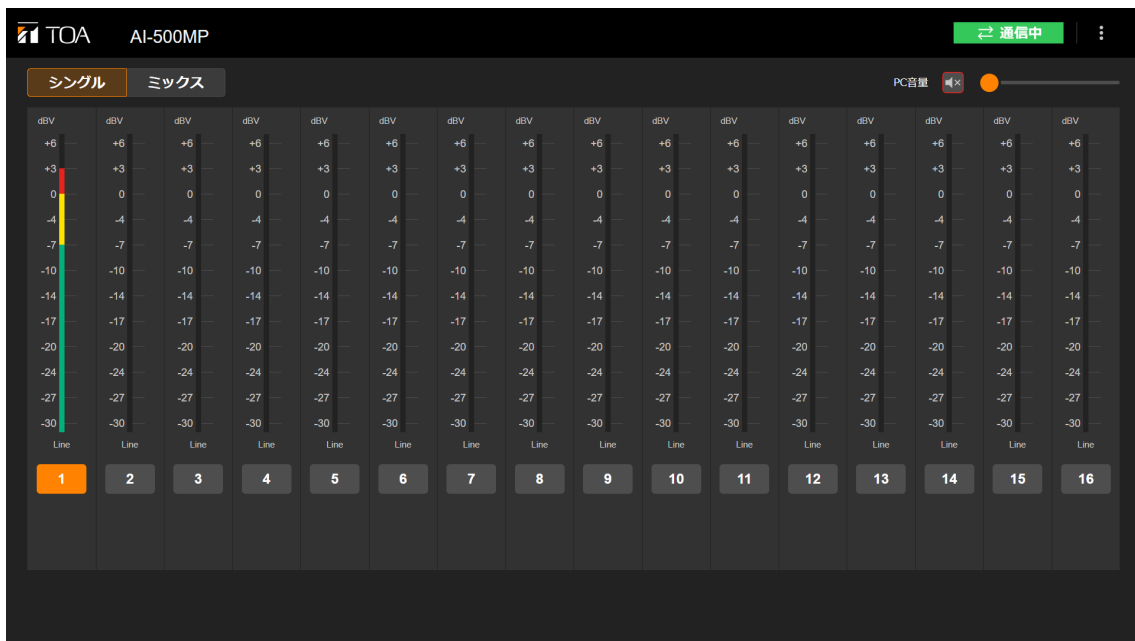
↑ ↓ グループ設定

表示	CH	名称1	名称2	グループ	信号スケール	単位
<input checked="" type="checkbox"/>	1	チャンネル	1	group1	Hi-Z	V
<input checked="" type="checkbox"/>	2	チャンネル	2	group1	Lo-Z	W/8Ω
<input checked="" type="checkbox"/>	3	チャンネル	3	group2	Line	dBV
<input checked="" type="checkbox"/>	4	チャンネル	4	group2	Hi-Z	V
<input checked="" type="checkbox"/>	5	チャンネル	5	group2	Lo-Z	W/8Ω
<input checked="" type="checkbox"/>	6	チャンネル	6	group2	Line	dBV
<input checked="" type="checkbox"/>	7	チャンネル	7	group3	Hi-Z	V
<input checked="" type="checkbox"/>	8	チャンネル	8	group3	Lo-Z	W/8Ω
<input checked="" type="checkbox"/>	9	チャンネル	9	group3	Line	dBV

設定

※上記は設定画面の場合です。

[モニター画面]



# モニター画面の使いかた

モニター画面では、本体後面の入力端子への各種入力のレベル、またはネットワークオーディオアダプター NX-300 の放送のレベルを確認できます。

また、モニター中の音声をパソコンに保存することができます。(P. 13)

## 各部の表示内容

モニター画面に切り換えると (P. 9)、次の画面が表示されます。



項目	内容
① 本体名称	表示設定 (P. 19) で設定した本体名称が表示されます。
② 通信状態	本体の状態に応じて、「通信中」または「通信エラー」と表示されます。
③ モニターモード切り換え部	音声のモニターモードを、「シングル」または「ミックス」に切り換えることができます。(P. 11) 初期設定：シングル
④ パソコン音量	パソコンでモニターする音量を設定します。 初期設定：ミュート
⑤ 単位	信号スケール⑦に対応した単位が表示されます。
⑥ レベルメーター	モニターする音声のレベルが表示されます。 <b>ご注意</b> 本体前面のレベルメーターの表示と異なることがあります。
⑦ 信号スケール	表示設定 (P. 19) で設定した信号スケールが表示されます。
⑧ チャンネル番号	選択中のチャンネルが橙色で表示されます。 初期設定：1
⑨ チャンネル名称	表示設定 (P. 19) で設定したチャンネル名称が表示されます。 1行目に「名称 1」、2行目に「名称 2」の設定値が表示されます。
⑩ グループ名称	表示設定 (P. 19) で設定したグループ名称が表示されます。

### ご注意

同時に接続できるモニター画面はウィンドウ 4 つまでです。そのうち、同時に音声をモニターできるのはウィンドウ 2 つまでです。

## ■ モニターモード切り換え

モニターモードをシングルモード (P. 11) またはミックスモード (P. 12) に切り換えることができます。モニターモードの切り換えかたは次のとおりです。

手順：モニターモード切り換え部で、「シングル」または「ミックス」をクリックする。



### ● シングルモード

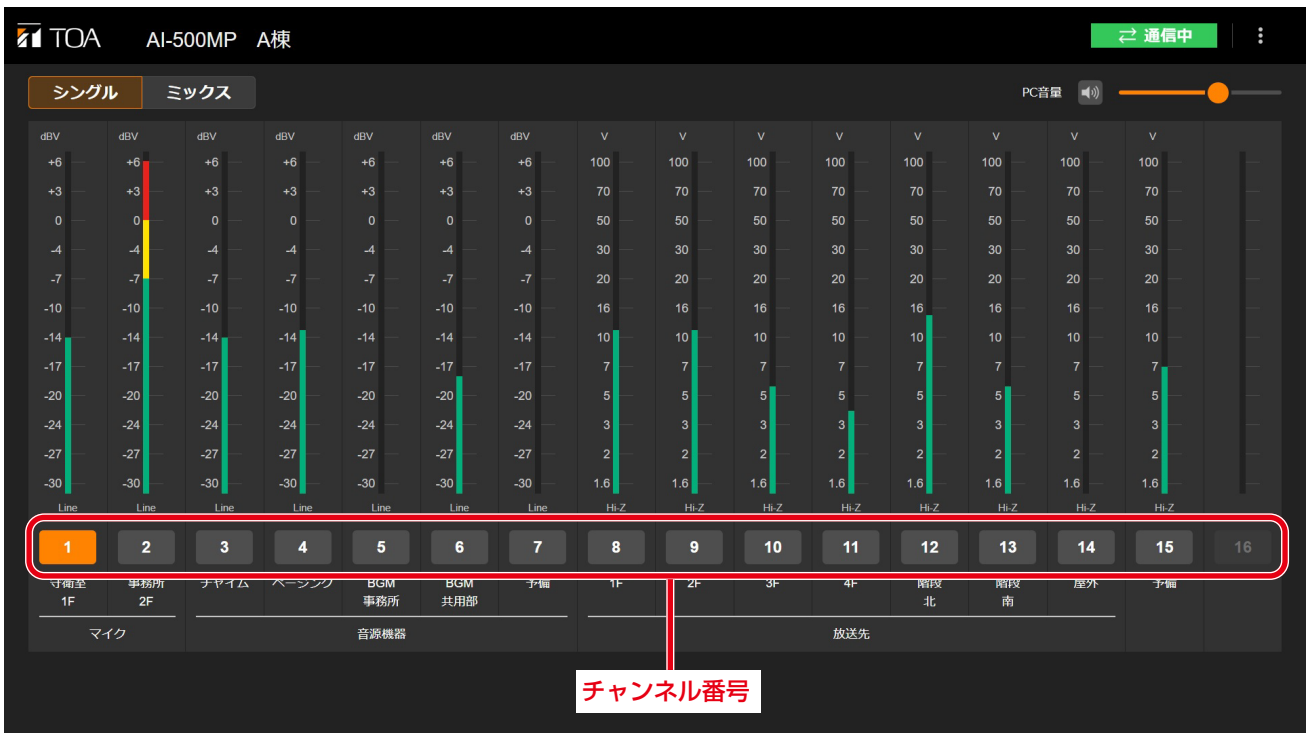
シングルモードでは、1つのチャンネルのみを選択でき、そのチャンネルの音声のみブラウザから出力されます。

モニターするチャンネル番号をクリックして選択します。

✕ モ

ブラウザ画面でのチャンネル選択は、本体とは独立しており、本体のモニターチャンネル選択に影響しません。

シングルモードでモニターしている状態



## ● ミックスモード

ミックスモードでは、複数のチャンネルを選択でき、選択したチャンネルの音声が入混音されて、ブラウザから出力されます。

モニターするチャンネル番号をクリックして選択します。表示されているすべてのチャンネルを選択するときは、全選択ボタンをクリックします。

メ モ

ブラウザ画面でのチャンネル選択は、本体とは独立しており、本体のモニターチャンネル選択に影響しません。

ミックスモードでモニターしている状態



本体 MIX 機能 (P. 20) を使用する設定になっている場合には、ミックスボタンの右側にプルダウンメニューが表示され、カスタム、本体 MIX1、本体 MIX2 の 3 つの選択肢が選択できるようになります。

カスタムを選択しているときには、モニターするチャンネル番号をクリックして自由にチャンネルを選択できます。

本体 MIX1 または本体 MIX2 を選択しているときには、本体 MIX で設定したチャンネルが自動選択されます。



### ご注意

本体 MIX1 のみ使用する設定になっている場合には、本体 MIX2 はプルダウンメニューに表示されません。

## ■ モニター音声の保存

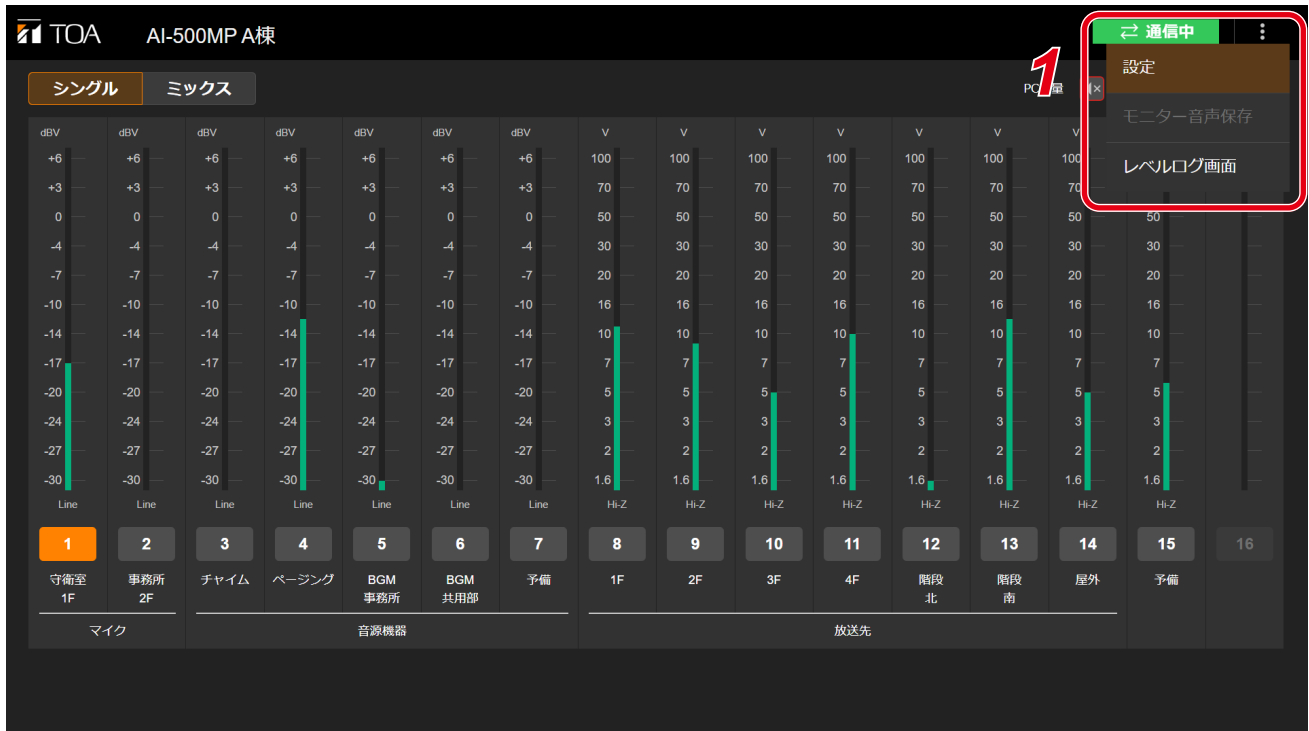
モニター中の音声をパソコンに保存することができます。  
保存のしかたは次のとおりです。

### ご注意

モニター音声の保存中は、チャンネル切り換えができません。

×モ

音声データは、WAV形式（48 kHz、16bit、モノラル）で保存されます。



- 1 ブラウザー画面右上の「:」をクリックし、「モニター音声保存」をクリックする。  
モニター音声保存画面が表示されます。

### ご注意

「モニター音声保存」は、音声ブラウザから出力されているときのみクリックできます。



- 2 保存時間を指定する。

保存時間は次の条件で設定できます。

分 : 0 ~ 10 (1分単位)

秒 : 0、15、30、45

設定範囲 : 15秒 ~ 10分

### 3 開始ボタンをクリックする。

保存が開始されます。保存中はモニター音声保存画面が表示され、音声ブラウザから出力されます。音声は常にパソコンの最大の音量設定で保存されます。

画面中央に経過時間と手順2で設定した保存時間、および進捗バーが表示されます。

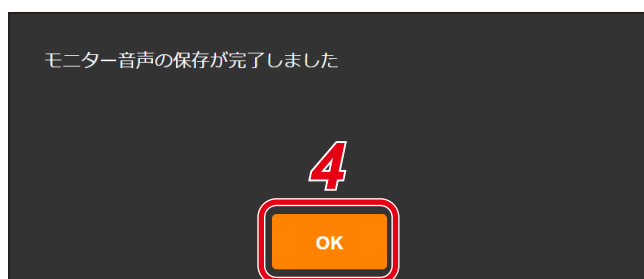


✕ モ

保存時間が終了する前に保存を停止する場合は、キャンセルボタンまたは「停止して保存」ボタンをクリックします。

- キャンセルボタンをクリックすると、保存が中止され、保存しようとしていた内容は失われます。
- 「停止して保存」ボタンをクリックすると、その時点で保存が終了し、手順4の「名前を付けて保存」画面が表示されます。

保存時間が経過すると、モニター音声保存の完了画面が表示されます。



### 4 OK ボタンをクリックする。

音声データが保存されます。

# レベルログ画面の使いかた

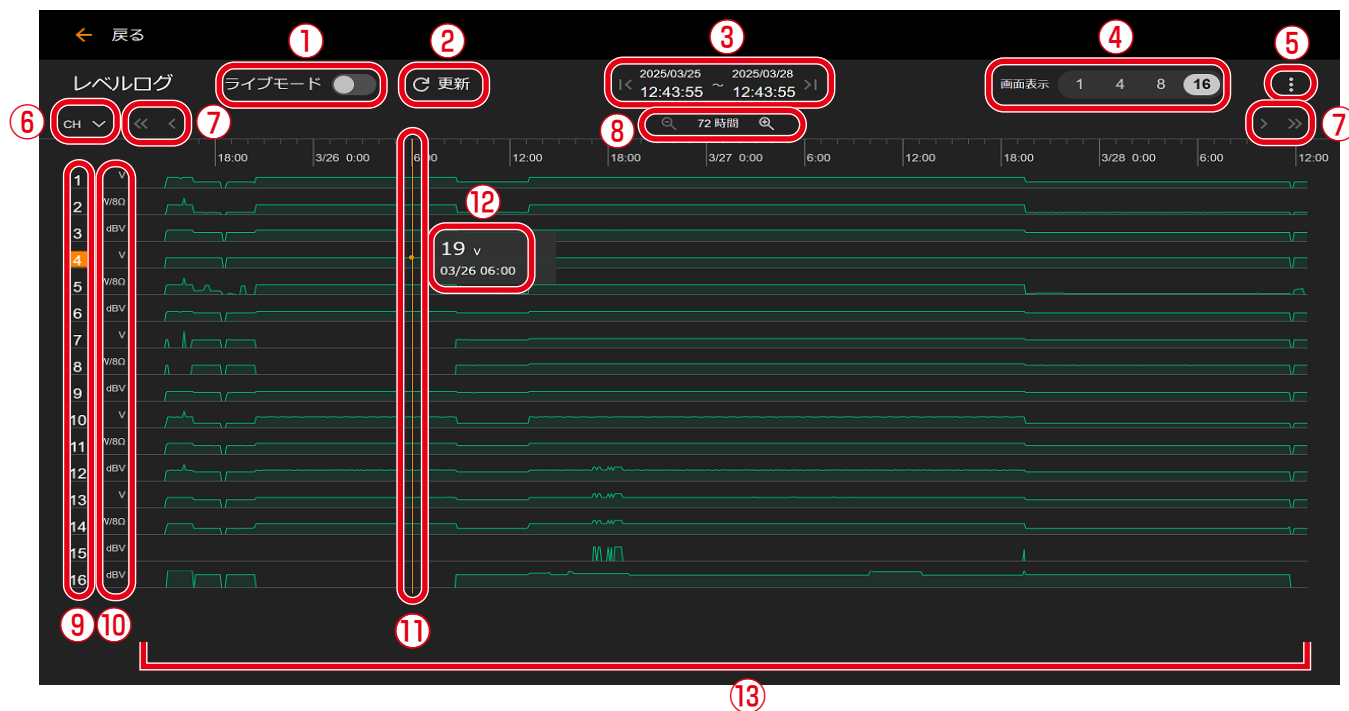
レベルログ画面では、本体に保存された最大 72 時間のレベルログを確認できます。  
ライブモードに切り換えると、レベルログがリアルタイムに表示されます。

## ご注意

入力方式に「ネットワーク」を選択している場合 (P. 25) は、レベルログ画面に切り換えると、他のウィンドウで表示しているモニター画面のレベルメーターと音声の再生が約 5 秒間停止します。

## ■ 各部の表示内容

レベルログ画面に切り換えると (P. 8)、次の画面が表示されます。



項目	内容
① ライブモード切り換えスイッチ	このスイッチをクリックすると、ライブモードの ON/OFF を切り換えることができます。ON に切り換えると、橙色で表示されます。
② 更新ボタン	このボタンをクリックすると、本体から最新のレベルログを取得し表示します。
③ 時間範囲	レベルログの時間範囲を表示します。左側の [   < ] ボタンをクリックすると最も古い時間に移動し、右側の [ >   ] ボタンをクリックすると最も新しい時間に移動します。
④ 画面表示	1 画面に表示するレベルログのチャンネル数を選択できます。 初期設定：16
⑤ メニューボタン	このメニューで、パソコンへのレベルログの保存と、パソコンに保存したレベルログを開くことができます。
⑥ チャンネル選択	[ ✓ ] ボタンをクリックすると、チャンネル選択メニューが表示され、チェックボックスにチェックを入れることで画面に表示するチャンネルを選択できます。
⑦ 時間移動ボタン	[ < ], [ > ] ボタンをクリックすると、時間が表示されている目盛り (主目盛り) ごとに時間を移動できます。 [ << ], [ >> ] ボタンをクリックすると、拡大/縮小ボタン⑧の表示範囲ごとに時間を移動できます。

	項目	内容
⑧	拡大／縮小ボタン	レベルログの拡大／縮小を行います。表示範囲は 72 時間、24 時間、1 時間、10 分、1 分です。 初期設定：72 時間
⑨	チャンネル番号	この番号の上にマウスを合わせると、表示設定 (P. 19) で設定したチャンネル名が表示されます。
⑩	信号スケール	表示設定 (P. 19) で設定した信号スケールが表示されます。
⑪	時間カーソル	レベルログの表示エリアの上にマウスを合わせると、時間カーソルが表示されます。その状態でクリックすると時間カーソルを固定でき、固定した状態で拡大／縮小ボタン⑧をクリックすると時間カーソルを基準に拡大／縮小されます。
⑫	詳細データ	レベルログ⑬の上にマウスを合わせると、詳細なレベルと日時が表示されます。時間カーソル⑪をクリックして固定すると、常に詳細データが表示されます。
⑬	レベルログ	本体に保存されたレベルログが表示されます。

#### メモ

レベルログ画面での操作が遅く感じる場合は、チャンネル選択⑥を操作して、ログを確認したいチャンネルのみ表示されるようにしてください。

## ■ ライブモードの切り換え

ライブモードとは、レベルログがリアルタイムに表示されるモードです。ライブモードの ON/OFF の切り換えは、ライブモード切り換えスイッチで行います。(P. 15)

ライブモードを ON に切り換えると、レベルログ表示が切り換わり、リアルタイムのレベルログのみ表示されます。ライブモードでは、更新ボタンとメニューボタンを操作することはできません。

ライブモードでモニターしている状態



#### ご注意

ライブモードとモニター画面が同時に接続できるのはウィンドウ 4 つまでです。

## ■ メニュー操作のしかた

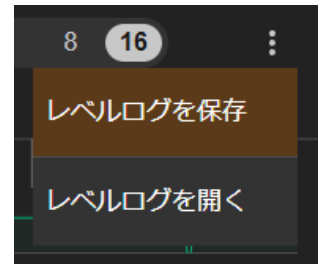
レベルログ画面のメニューボタンから、パソコンにレベルログを保存したり、パソコンに保存したレベルログを表示したりすることができます。

### ● レベルログを保存する

レベルログ画面で表示しているレベルログをパソコンに保存することができます。ライブモードで表示されているレベルログも保存することができます。

手順：メニューボタンをクリックし、「レベルログを保存」をクリックする。

レベルログファイルが保存されます。  
レベルログファイルは CSV 形式です。



### ● レベルログを表示する

パソコンに保存したレベルログを表示することができます。

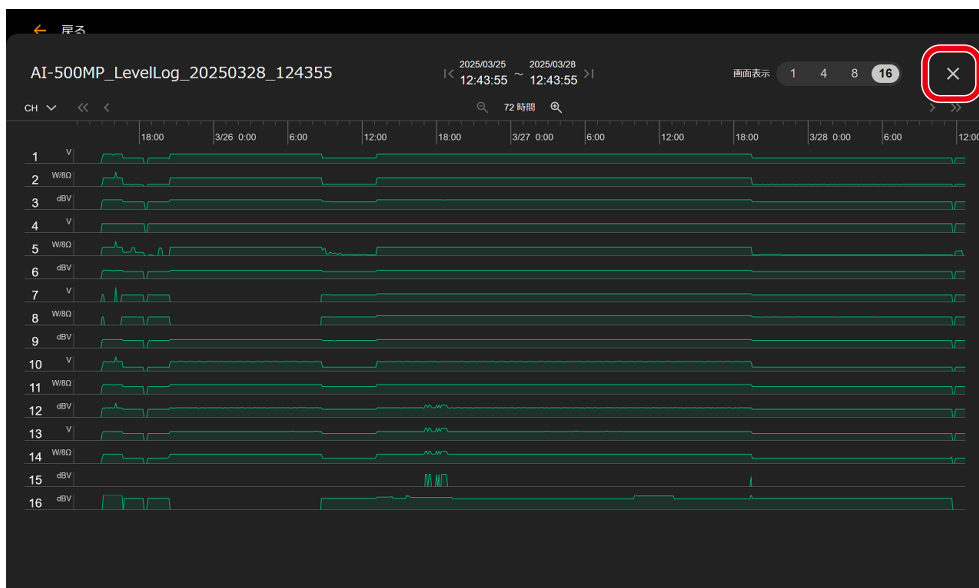
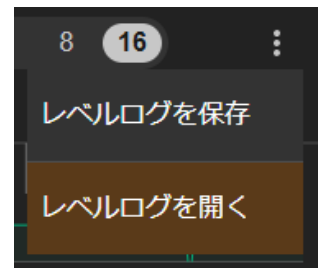
**1** メニューボタンをクリックし、「レベルログを開く」をクリックする。

ファイルエクスプローラーが開きます。

**2** 開くレベルログファイルを選択する。

**3** 開くボタンをクリックする。

レベルログが表示されます。



メモ

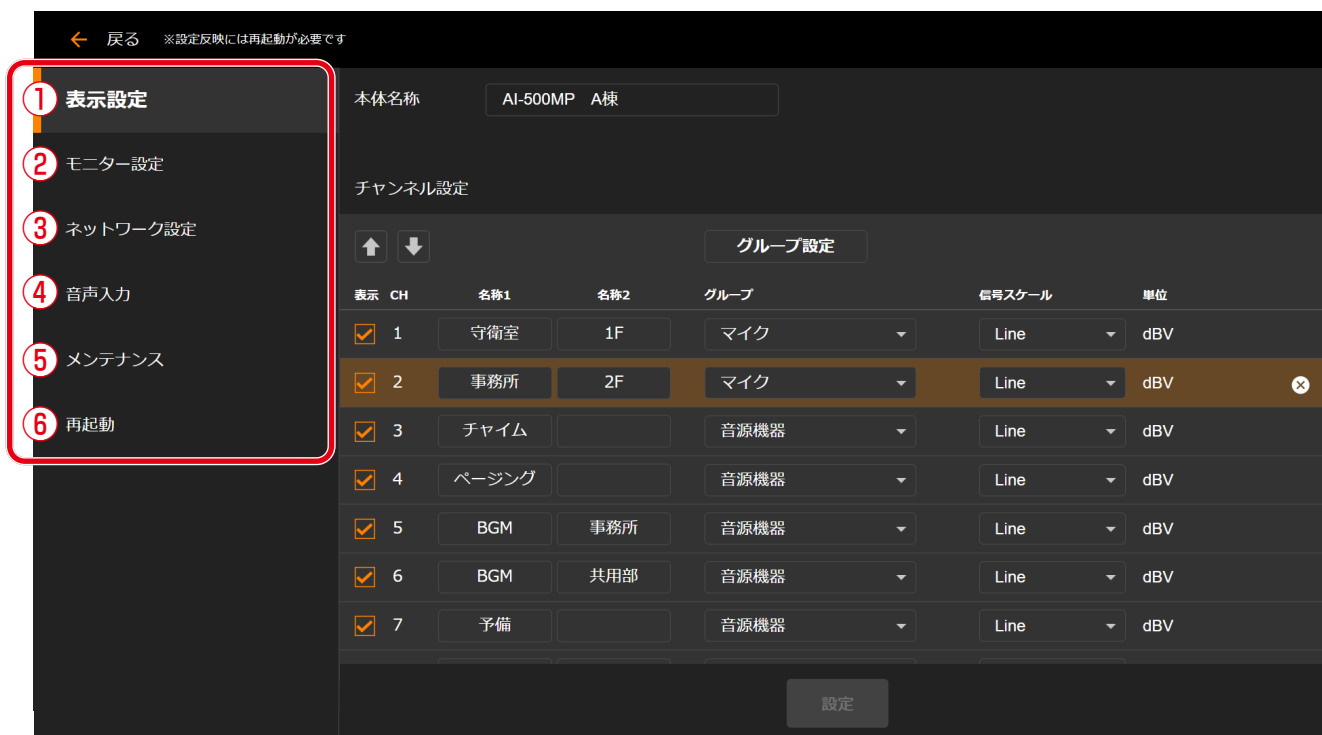
開いたレベルログファイルを閉じるときは、画面右上の×をクリックします。

# 設定画面の使いかた

設定画面では、表示設定、モニター設定、ネットワーク設定、音声入力設定、メンテナンス作業、および再起動を行うことができます。

## ■ メニューリスト

設定画面に切り換えると (P. 7)、画面左側にメニューリストが表示されます。メニューリストで各種設定、再起動、メンテナンスをクリックして選択します。



	項目	内容	参照ページ
①	表示設定	モニター画面の表示内容の設定	P. 19
②	モニター設定	モニターに関する本体の動作設定	P. 20
③	ネットワーク設定	ユーザー名、パスワードやIPアドレス等のネットワークの設定、日時設定	P. 22
④	音声入力	アナログ/ネットワーク方式の設定	P. 25
⑤	メンテナンス	設定のバックアップ・復元、動作ログのダウンロード、ファームウェアのバージョン確認・更新、初期化	P. 27
⑥	再起動	本体の再起動	P. 31

## ■ 表示設定のしかた

モニター画面に表示する内容を設定します。

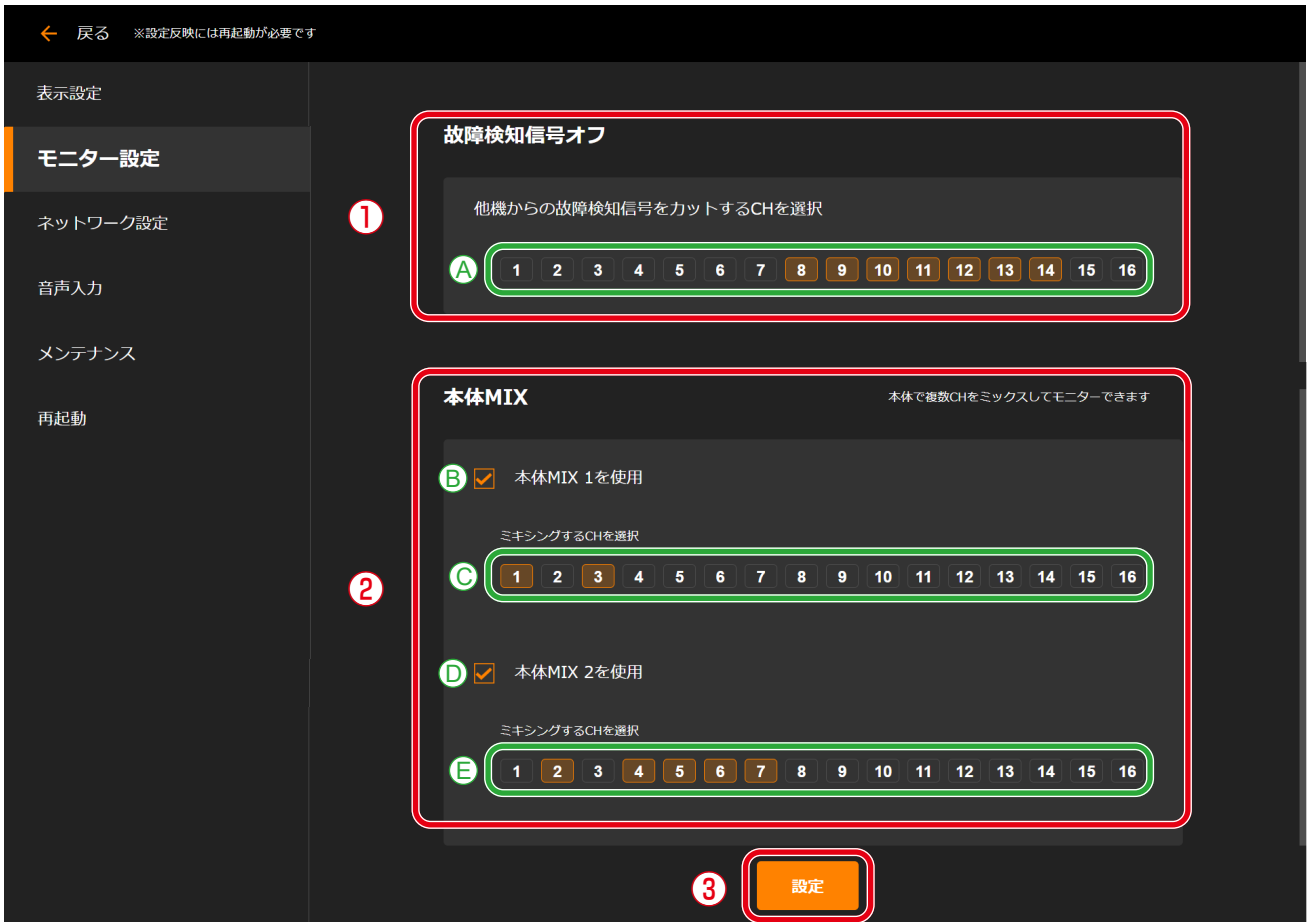
本画面で設定する内容が反映される箇所については、モニター画面の表示（P. 10「各部の表示内容」）をお読みください。



項目	内容
① 本体名称	モニター画面に表示される本体名称を入力します。 入力可能文字数：全角・半角にかかわらず 16 文字
② 並べ換えボタン	行を選択した状態で、「↑」「↓」ボタンをクリックすると、行ごとの設定を並べ換えることができます。例えば CH2 の行を選択した状態で「↑」を押すと CH1 と CH2 の行の設定内容を入れ換えることができます。
③ グループ設定ボタン	クリックすると、グループ名を設定できます。設定したグループ名はグループ⑧で選択することができます。 入力可能文字数：全角・半角にかかわらず 10 文字
④ 表示	チェックの入ったチャンネルのみがモニター画面に表示されます。
⑤ CH	モニター画面のチャンネル番号です。
⑥ 名称 1	モニター画面に表示されるチャンネル名称の 1 行目を入力します。 入力可能文字数：全角・半角にかかわらず 5 文字
⑦ 名称 2	モニター画面に表示されるチャンネル名称の 2 行目を入力します。 入力可能文字数：全角・半角にかかわらず 5 文字
⑧ グループ	モニター画面に表示されるグループを選択します。
⑨ 信号スケール	モニター画面に表示される信号スケールを選択します。
⑩ 単位	設定した信号スケール⑨に対応した単位が設定されます。変更はできません。
⑪ 削除ボタン	行を選択すると表示されます。クリックすると選択されている行のチャンネルの各設定内容を一括で初期値に戻すことができます。
⑫ 設定ボタン	このボタンをクリックした後、本体を再起動すると、入力した内容が反映されます。（P. 31「再起動のしかた」）

# ■ モニター設定のしかた

モニターに関する本体の動作設定を行います。



## ① 故障検知信号オフ

故障検知用の特定周波数の微小信号が入り続ける場合に、その信号をレベルメーターに表示しないように設定できます。

	項目	内容
A	チャンネル番号	故障検知信号をカットするチャンネルをクリックして選択します。

## ② 本体 MIX

工場出荷時状態の本体では、モニターできるチャンネルは1つだけです。

本体で複数のチャンネルをモニターする場合は、この機能であらかじめモニターする複数のチャンネルを設定しておき、本体の操作でモニターするチャンネルを切り換えます。

	項目	内容
B	本体 MIX1 使用チェックボックス	本体 MIX1 を使用するときにはチェックを入れます。 <b>ご注意</b> このチェックボックスのチェックを外すと、本体 MIX2 使用チェックボックス (D) と本体 MIX2 チャンネル番号 (E) は表示されません。
C	本体 MIX1 チャンネル番号	本体 MIX1 でミキシングするチャンネル番号をクリックして選択します。

	項目	内容
D	本体 MIX2 使用チェックボックス	本体 MIX2 を使用するときにはチェックを入れます。 <b>ご注意</b> 本体 MIX1 使用チェックボックス (B) にチェックが入っていないときは表示されません。
E	本体 MIX2 チャンネル番号	本体 MIX2 でミキシングするチャンネル番号をクリックして選択します。 <b>ご注意</b> 本体 MIX1 使用チェックボックス (B) にチェックが入っていないときは表示されません。

### ③ 設定ボタン

このボタンをクリックした後、本体を再起動すると、入力した内容が反映されます。(参照 P. 31 「再起動のしかた」)

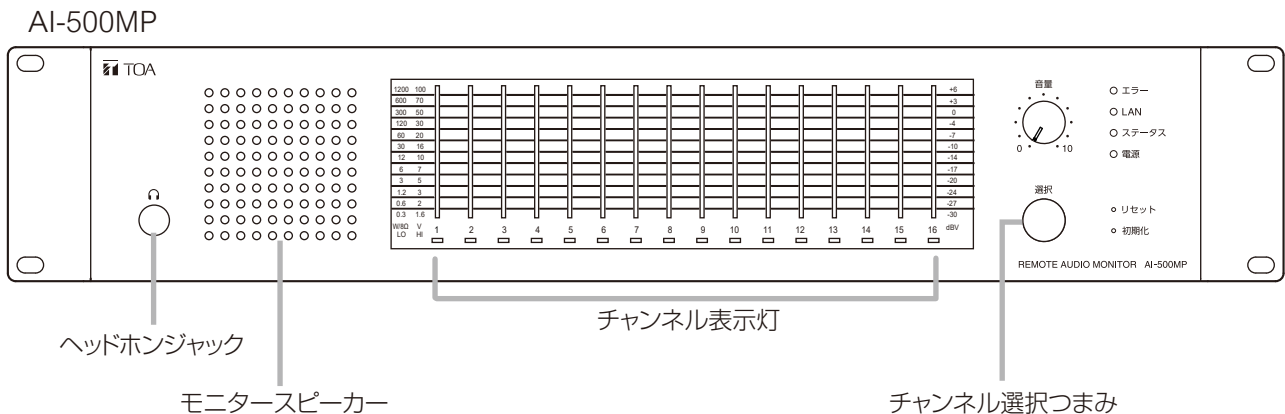
## ● 本体でのモニター方法の切り換えかた

あらかじめ本体 MIX の設定を行っておきます。(参照 P. 20 「② 本体 MIX」)

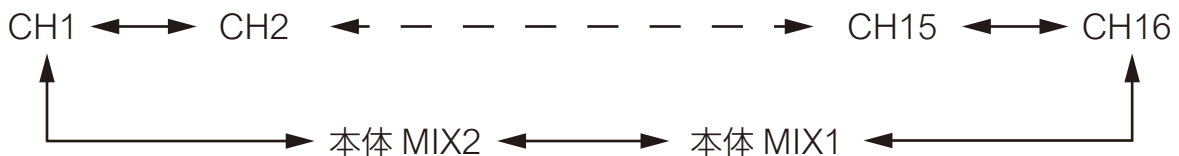
以下の説明は、本体 MIX1 と本体 MIX2 を共に使用するように設定している場合のものです。

### ご注意

本体 MIX の設定をしていない場合は、この切り換えはできません。



本体 MIX1 と本体 MIX2 を共に使用するように設定している場合、チャンネル選択つまみでチャンネルを切り換えると、次の順番で切り換わります。(CH1 はチャンネル 1 を指します。)



例えば、チャンネル 16 を選択した状態でチャンネル選択つまみを時計回りに回すと、本体 MIX1 が選択され、本体 MIX1 に設定しているチャンネルの音声がミックスされてモニタースピーカーまたはヘッドホンジャックから出力されます。そのときは、本体 MIX1 に設定されているチャンネルのチャンネル表示灯がすべて点灯します。

また、チャンネル 1 を選択した状態でチャンネル選択つまみを反時計回りに回すと、本体 MIX2 が選択され、本体 MIX2 に設定しているチャンネルの音声がミックスされてモニタースピーカーまたはヘッドホンジャックから出力されます。

# ■ ネットワーク設定のしかた

ユーザー名、パスワードや IP アドレスなどのネットワークに関する設定と、日時設定を行います。

← 戻る ※設定反映には再起動が必要です

表示設定  
モニター設定  
**ネットワーク設定**  
音声入力  
メンテナンス  
再起動

**1**

**アカウント** ⓘ

ユーザー名 **A** admin

現在のパスワード **B** .....

新しいパスワード **C** .....

新しいパスワード (確認) **D** .....

**2**

**ネットワーク**

ホスト名 ⓘ **E** ai-500mp .local

MACアドレス **F** 00-05-F9-00-00-00

**G**  IPアドレスを自動的に取得する

次のIPアドレスを使う

**H**

IPアドレス 192 . 168 . 14 . 1

サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ . . .

優先DNSサーバー . . .

代替DNSサーバー . . .

**3**

**日時設定**

本体の設定日時 ⓘ 2023/01/01 00:16:10

**J**  NTPサーバーと同期 ⓘ

**K**  手動設定 2024/04/18 📅 09 ▾ : 20 ▾ : 40 ▾ **セット**

**L** **PCの日時反映**

**4** **設定**

### ① アカウント

アカウント関連の設定を行います。

	項目	内容
A	ユーザー名* <sup>1</sup>	ユーザー名を入力します。 初期設定：admin
B	現在のパスワード* <sup>1</sup>	現在のパスワードを入力します。 初期設定：guest
C	新しいパスワード* <sup>1</sup>	新しく設定するパスワードを入力します。
D	新しいパスワード (確認) * <sup>1</sup>	もう一度、新しく設定するパスワードを入力します。

\*<sup>1</sup> 設定できる文字数は 5 ～ 16 文字、半角英数字とアンダースコア ( \_ ) が使用できます。

### ② ネットワーク

ネットワーク関連の設定を行います。

	項目	内容
E	ホスト名* <sup>2</sup>	ホスト名を入力します。 初期設定：ai-500mp
F	MAC アドレス	本体の MAC アドレスが表示されます。変更はできません。
G	IP アドレス自動取得	IP アドレスを自動取得するときは、「IP アドレスを自動的に取得する」をクリックして選択します。
H	IP アドレス手動設定	手動で IP アドレスを設定するときは、「次の IP アドレスを使う」をクリックして選択し、次の内容を入力します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● IP アドレス 初期設定：192.168.14.1</li><li>● サブネットマスク 初期設定：255.255.255.0</li><li>● デフォルトゲートウェイ 初期設定：なし</li><li>● 優先 DNS サーバー 初期設定：なし</li><li>● 代替 DNS サーバー 初期設定：なし</li></ul>

\*<sup>2</sup> 設定できる文字数は 3 ～ 16 文字、半角英数字とハイフン ( - ) が使用できます。ただし、先頭と末尾にはハイフンは使用できません。


### ③ 日時設定

日時関連の設定を行います。

	項目	内容
I	本体の設定日時	ネットワーク設定画面を開いたとき、または時刻を設定したときの、本体に設定されている日時が表示されます。
J	NTP サーバーと同期	NTP サーバーと同期する場合、クリックして選択し、接続先のホスト名* <sup>3</sup> または IP アドレスを入力します。
K	日時手動設定	手動で日時設定する場合、「手動設定」をクリックして選択し、次の設定を行い、セットボタンをクリックして本体に反映させます。 日付設定 : 日付表示右のカレンダーアイコンをクリックし、表示されるカレンダーで設定する日付を選択します。 時間設定 : 「時」「分」「秒」を、それぞれプルダウンメニューから数値を選択して設定します。 セットボタン : クリックすると本体に日時が保存されます。日時を反映するには、本体の再起動 ( P. 31 「再起動のしかた」 ) が必要です。
L	[PC の日時反映] ボタン	クリックすると、パソコンの日時が日時手動設定 ( K ) の日付と時間に表示され、本体に保存されます。日時を反映するには、本体の再起動 ( P. 31 「再起動のしかた」 ) が必要です。

\*<sup>3</sup> 設定できる文字数は 3 ～ 32 文字、半角英数字、ハイフン (-) とピリオド (.) が使用できます。ただし、先頭と末尾にはハイフンとピリオドは使用できません。

#### ④ 設定ボタン

このボタンをクリックした後、本体を再起動すると、入力した内容が反映されます。(  P. 31 「再起動のしかた」)

## ■ 音声入力設定のしかた

本体の音声入力設定を行います。

モニターする音声入力として、本体後面の入力端子への入力、またはネットワークオーディオアダプター NX-300 の放送を選択できます。

### ● 各部の表示内容



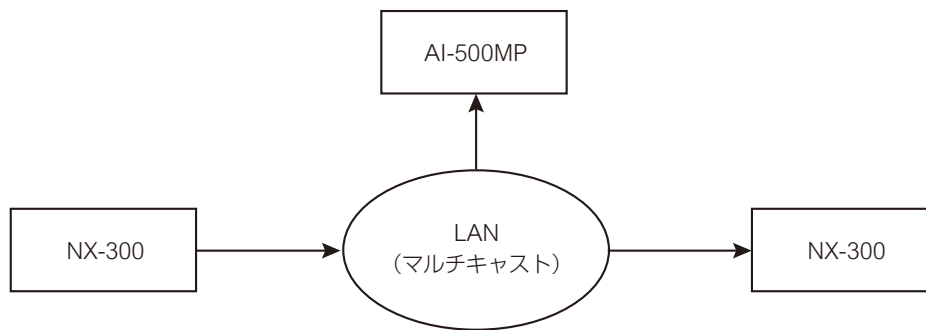
項目	内容
① 入力方式	本体に入力する音声の入力方式を選択します。本体後面の入力端子への入力をモニターする場合は「アナログ」を選択し、NX-300 の放送をモニターする場合は「ネットワーク」を選択します。 初期設定：アナログ
② マルチキャストアドレス*	NX-300 で放送先に設定したマルチキャストアドレスを設定します。
③ ポート番号*	NX-300 で放送先に設定したポート番号を設定します。
④ パケットサイズ*	NX-300 で放送先に設定したパケットサイズを設定します。 初期設定：1024
⑤ 設定ボタン	このボタンをクリックした後、本体を再起動すると、入力した内容が反映されます。( P.31 「再起動のしかた」)

\* 入力方式①で「ネットワーク」を選択したときのみ表示されます。

## ● NX-300 の放送をモニターする

AI-500MP を NX-300 と LAN 経由で接続することで、NX-300 同士で行われるマルチキャスト放送を最大 16 チャンネルまでモニターすることができます。

接続イメージは次のとおりです。



### ご注意

- マルチキャスト放送が確立している NX-300 同士の放送をモニターします。NX-300 の放送先に直接 AI-500MP を設定してモニターすることはできません。
- ユニキャスト放送はモニターできません。
- モニターできるのは、NX-300 の放送スペック設定が次の場合のみです。  
サンプリング周波数 : 48 kHz  
パケットサイズ : 256/512/1024 byte  
音声圧縮 : OFF (非圧縮)

## ■ メンテナンス

設定のバックアップと復元、動作ログのダウンロード、ファームウェアのバージョン確認と更新、初期化などの各種メンテナンス作業を行います。

← 戻る ※設定反映には再起動が必要です

表示設定

モニター設定

ネットワーク設定

音声入力

**メンテナンス**

再起動

**1** **設定**

設定をバックアップします **A** **バックアップ**

設定を復元します

**B** ファイル選択

参照... 復元

**2** **動作ログ**

ログファイルを取得します **C** **ダウンロード**

**3** **ファームウェア**

バージョン **D** 0.0.0

ファームウェア更新

**E** ファイル選択

参照... 更新

**4** **初期化**

本体を工場出荷時の設定に初期化します **F** **初期化**

## ① 設定

本体の設定内容のバックアップをパソコンに保存したり、パソコンから復元したりできます。

	項目	内容
A	バックアップボタン	クリックすると、設定ファイルをパソコンに保存できます。
B	復元	パソコンに保存した設定内容を復元します。

メモ

設定ファイルは JSON 形式です。

## ② 動作ログ

動作ログをパソコンにダウンロードできます。

	項目	内容
C	ダウンロードボタン	クリックすると、動作ログファイルをパソコンに保存できます。

メモ

- 動作ログファイルは 1000 件までダウンロードできます。
- 動作ログファイルは CSV 形式です。

## ③ ファームウェア

ファームウェアのバージョン確認と更新ができます。

	項目	内容
D	バージョン	ファームウェアのバージョンが表示されます。
E	ファームウェア更新	ファームウェアファイルを指定して、更新できます。

## ④ 初期化

本体を工場出荷時の設定に初期化できます。

	項目	内容
F	初期化ボタン	クリックすると、本体を工場出荷時の設定に初期化できます。

## ● バックアップのしかた



手順：バックアップボタンをクリックする。

バックアップファイルが保存されます。

## ● バックアップの復元のしかた



- 1** 参照ボタンをクリックする。  
ファイルエクスプローラーが開きます。
- 2** バックアップファイルを選択する。
- 3** 開くボタンをクリックする。  
参照ボタンの左側に、選択したバックアップファイルのファイル名が表示されます。
- 4** バックアップファイルのファイル名が正しいか確認したうえで、復元ボタンをクリックする。  
復元が開始されます。  
完了すると、確認ダイアログが表示されます。
- 5** OK ボタンをクリックする。
- 6** 本体を再起動する。  
([P. 31 「再起動のしかた」](#))  
バックアップファイルの設定内容が本体に復元されます。

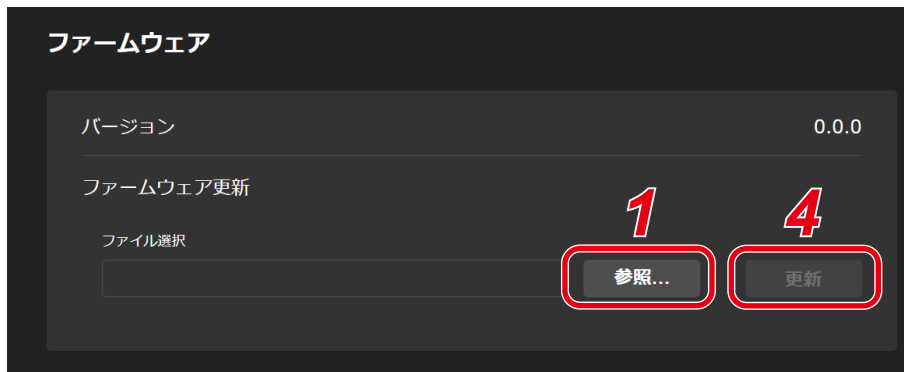
## ● 動作ログファイルダウンロードのしかた



- 手順：ダウンロードボタンをクリックする。  
動作ログファイルが保存されます。

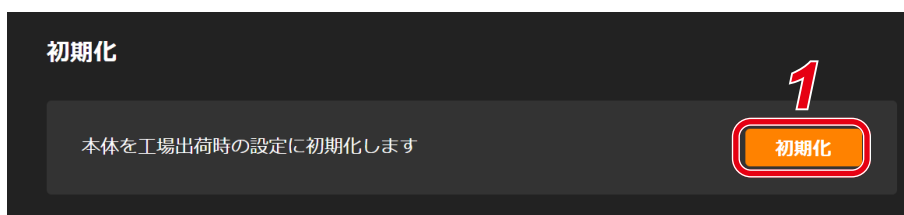
## ● ファームウェア更新のしかた

最新のファームウェアは TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) で品番を検索してダウンロードしてください。



- 1 参照ボタンをクリックする。**  
ファイルエクスプローラーが開きます。
- 2 新しいファームウェアのファイルを選択する。**
- 3 開くボタンをクリックする。**  
参照ボタンの左側に、選択したファームウェアのファイル名が表示されます。
- 4 ファームウェアのファイル名が正しいか確認したうえで、更新ボタンをクリックする。**  
ファームウェア更新が開始されます。  
完了すると、確認ダイアログが表示されます。
- 5 OK ボタンをクリックする。**  
ファームウェアが更新され、本体が再起動します。

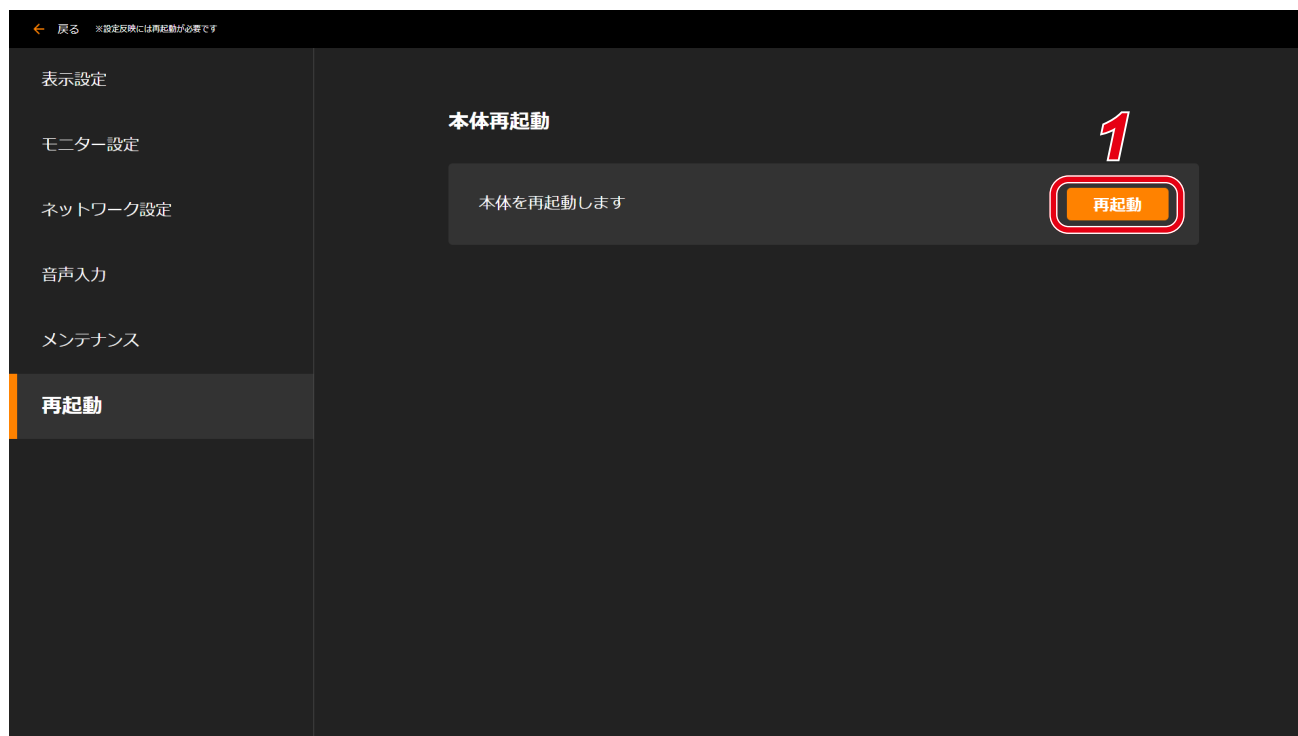
## ● 初期化のしかた



- 1 初期化ボタンをクリックする。**  
確認ダイアログが表示されます。
- 2 OK ボタンをクリックする。**  
工場出荷時への初期化が開始します。  
完了すると、確認ダイアログが表示されます。
- 3 OK ボタンをクリックする。**  
本体の設定内容が工場出荷時の状態に初期化されます。

## ■ 再起動のしかた

本体を再起動します。設定変更を反映する場合などに使用します。



**1** 再起動ボタンをクリックする。  
確認ダイアログが表示されます。

**2** OK ボタンをクリックする。

<p><b>TOA お客様相談センター</b></p>	<p>フリーダイヤル（固定電話専用） <b>0120-108-117</b></p>	<p>商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。</p>
<p>商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）</p>	<p>ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ IP 電話からはつながりません。</p>	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

**TOA 株式会社**

202507